

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【公開番号】特開 2018-172646 (P2018-172646A)

【公開日】平成 30 年 11 月 8 日 (2018.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2018-043

【出願番号】特願 2018-50113 (P2018-50113)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/18 (2006.01)

C 0 9 D 7/40 (2018.01)

C 0 9 D 183/04 (2006.01)

C 0 8 G 77/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 3/18 1 0 4

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 183/04

C 0 8 G 77/04

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 5 日 (2021.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (1) で表されるシラン化合物 (A)、式 (2) で表されるシラン化合物 (B) 及び粗さ調整剤 (C) の混合組成物であり、

前記粗さ調整剤 (C) が、酸化チタン、酸化マンガン、酸化イットリウム (III)、酸化ジルコニウム、酸化アルミニウム、酸化亜鉛、酸化インジウム (III)、酸化錫 (II)、酸化錫 (IV)、三酸化アンチモン、酸化インジウム錫、及びスズ - アンチモン系酸化物からなる群から選択される少なくとも 1 種であり、

前記粗さ調整剤 (C) の含有量が、前記シラン化合物 (A) 及び前記シラン化合物 (B) の合計 100 質量部に対して、1 質量部以上 20 質量部以下である混合組成物。

【化 1】



[ 式 (1) 中、

R<sup>1</sup>は、炭素数 6 以上の炭化水素基を表し、該炭化水素基に含まれる -CH<sub>2</sub>- は、-O- に置き換わっていてもよい。

X<sup>1</sup>は、加水分解性基を表す。]

【化 2】



[ 式 (2) 中、

R<sup>2</sup>は、炭素数 1 ~ 5 の炭化水素基を表す。

X<sup>2</sup>は、加水分解性基を表す。

n は、0 又は 1 の整数を表す。]

## 【請求項 2】

前記粗さ調整剤 (C) が、メジアン径が 10 nm 以上 500 nm 以下の金属酸化物粒子である請求項 1 に記載の混合組成物。

## 【請求項 3】

前記シラン化合物 (A) と前記シラン化合物 (B) とのモル比 (B / A) が、2 以上 100 以下である請求項 1 又は 2 に記載の混合組成物。

## 【請求項 4】

前記シラン化合物 (A) と前記シラン化合物 (B) の合計の含有率が、組成物 100 質量 % 中、1 質量 % 以上 50 質量 % 以下である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の混合組成物。

## 【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の混合組成物を硬化した膜。

## 【請求項 6】

ISO 25178 に準拠して算出した表面の算術平均高さ  $S_a$  が、0.04  $\mu\text{m}$  以上 0.90  $\mu\text{m}$  以下である請求項 5 に記載の膜。

## 【請求項 7】

表面抵抗値が  $7.5 \times 10^{13} \text{ } \Omega/\text{sq}$  以下であり、ISO 25178 に準拠して算出した表面の算術平均高さ  $S_a$  が、0.04  $\mu\text{m}$  以上となる撥水膜。

## 【請求項 8】

請求項 5 ~ 7 のいずれかに記載の膜を有する物品。